

## 外交団バザーへの参加

10月5日(土)、在ヨルダン日本大使館は、アル・フセイン・ユース・シティで開催された外交団バザーに参加しました。今年で55回目となる外交団バザーは、バスマ王女(故フセイン前国王の妹君)が会長を務める慈善団体マバツラト・ウンム・アル・フセインにより主催されました。1958年に設立された同慈善団体は、青少年が安全かつ健全な環境で学び課外活動を行う機会を提供しており、外交団バザーの売上は全て同慈善団体へ寄付されています。

当館は毎年バザーに参加しており、今年是有田焼陶器、蒔絵レンジ椀、溜塗りの角重、箔工芸の手鏡等の日本の商品を販売しました。また、法被を体験着用しての写真撮影、日本を紹介するパンフレットや各種ポスターの掲示を通じて日本文化の紹介も行いました。食品コーナーでは太巻き寿司、抹茶パウンド・ケーキ及びお茶を販売し、好評を博すると共に、日本食文化を広める良い機会となりました。今年的外交団バザーには、日本を含め41の当地外交団が参加し、会場は多くの来客を得て大盛況となりました。



バスマ王女の日本ブースご訪問



日本ブースでの販売